



### 油谷小学校の完成を祝う会 新しい校舎の完成を祝う

平成19年度に着手した油谷小学校全面改築に関する全事業が完了したことから、9月1日(火)、油谷小学校屋内運動場で油谷小学校の完成を祝う会が行われ、施工業者や学校関係者など約250人が出席しました。総工費約15億円のこの事業では、昨年10月に校舎棟



▲祝う会のような様子

と屋内運動場が、今年8月にメイングラウンドが完成、この日からグラウンドの使用が開始されました。児童代表の馬渡美帆さんは「いつまでもきれいな学校であるように、みんなで掃除をがんばりたいと思います」と感謝の言葉を述べました。



▲今年8月に完成したグラウンド

### 地域課題と活性化に取り組み

地域おこし協力隊が6人に  
地域の活性化に取り組み長門市地域おこし協力隊員が2人増え、6人になりました。8月18日(火)、三隅地区に萩市出身の津田祐介さんが配置されました。県外で働いていた津田さんは、地元で社会貢献のできる仕事をしたと協力隊に応募し採用され、地域



▲今後の抱負を大西市長に語る津田さん

の特徴を生かした加工品の開発や、交流・定住促進に関する活動などに取り組みます。また、9月1日(火)には向津具地区に2人目の隊員として静岡県出身の大迫思織さんが配置されました。高齢者支援や、交流・定住促進に関する活動などを行います。



▲先に向津具地区に配置された磯野沙智恵さん(左)と大迫さん

### 滝坂神楽舞の練習がスタート 神楽舞の伝統を受け継いで

毎年11月2日の夜から未明にかけて、三隅地区滝坂の黄幡社で奉納される「滝坂神楽舞」の練習が滝坂公会堂で8月23日(日)、スタートしました。文化庁から「記録作成等の措置を講ずべき民俗文化財」、山口県からは「指定無形民俗文化財」に指定されているこの滝坂神楽舞は、今から約250年前に発生した大飢饉を沈静化させようと、氏子が舞を奉納したことをきっかけに始まったといわれています。24の演目のうち子どもが演じる「綱舞」など3つの舞について、神楽舞保存会のメンバーが熱心に指導しました。今年も11月2日(月)20時から滝坂黄幡社で奉納されます。



▲子どもたちに基本動作の指導する神楽舞保存会のメンバー

### 川辺の音楽祭2015 夏の終わりに音楽を楽しむ

音信川の川辺でいろいろな音楽が楽しめる「川辺の音楽祭2015」が8月29日(土)、湯本温泉街で行われ、8組のグループが演奏しました。開会式では伊藤就一実行委員長が、「今年で10年目、3回はジャズフェスタとして開催しましたが、川辺の音楽祭として2年ぶりに湯本で開催されました。夏の最後の思い出に、音楽を楽しんで下さい」とあいさつしました。小雨が降る天候の中演奏が始まると、熱心な音楽ファンや温泉への入浴客が会場のベンチに座り、県内各地からやってきたさまざまなジャンルのアマチュアバンドの演奏を楽しみました。

第21回長門大津畜産共進会  
手塩にかけて和牛を競う  
和牛の改良効果を確認するとともに、優良な繁殖雌牛を地域に保留し、農家の飼育管理技術の向上を図るために開催されている第21回長門大津畜産共進会が8月28日(金)、油谷の旧人丸家畜市場で行われました。市内の農家が手塩にかけて



▲グラウンドチャンピオン賞のゆりこと内山さん(右)



▲2年ぶりに湯本温泉街に音楽が響く



▲会場は市営浴場「恩湯」そばの駐車場

# 介護予防を銭太鼓で

高齢者の介護予防につなげるために健康銭太鼓体操の普及を行う実践講座が、油谷地区で取組を始めて20年となり、その記念大会が8月27日(木)、ラポールゆやで開催され、市内で活動する5つの銭太鼓グループ、102人が参加しました。

銭太鼓体操は、銭太鼓を使い、曲に合わせて体を動かすもので、体調に応じて誰でも取り組めるものです。

5つのグループごとに活動発表が行われ、それぞれが日頃の練習の成果を発揮し、音楽に合わせて銭太鼓を操っていました。



▲普段の練習の成果を発表する

益田市・萩市・浜田市・長門市4市長会議

# 今後も広域での連携を

県境をまたぐ4市の広域連携を進めるために開催されている益田市・萩市・浜田市・長門市4市長会議が8月18日(火)、長門市地域医療連携支援センターで開催されました。

山本浩章益田市長による観光イベントなどにおける交流促進についての報告の後、浜田く仙崎間に食事付きの列車を走らせようとする観光列車の取組、4市広域での大都市圏に向けた情報発信、地域医療の現状と今後の取組についてそれぞれの市長が考え方や進め方について話し合い、今後も連携を強めていくことを確認しました。



▲山本益田市長、野村萩市長、久保田浜田市長、大西市長

# 長門のPeople



誰かの役に立ちたくて、看護師の道へ。

田中大蔵さん

(長門総合病院／西深川上川西3区)

# 熱血！新鮮力

※仕事は  
看護師として、西3階病棟の整形チームで働いています。

※就職のきっかけは  
以前は別の職種でしたが、生まれ育った長門の地で人の役に立つ仕事がしたいと思い、看護師の道へ進みました。

※休日の過ごし方は  
旅行や温泉が好きで、家族と一緒に出かけます。市内では、黄波戸温泉が眺めも良くて好きですね。

※長門市の好きなところは

焼肉が好きなので、地産のおいしいお肉が食べられること。きれいな海も好きです。

※今後の目標は  
まだまだ知識や判断力では先輩方に及ばないので、経験を積んで、早く一人前の仕事ができるようになりたいです。

※最後に一言  
骨折で入院された場合には精いっぱい看護しますが、皆さんも一番の原因である「転倒」を予防し、骨折しないように気をつけてください。



# 郷土の先賢、清風に学ぶ

8月22日(土)、三隅農業者トレーニングセンターで、維新の礎を築いた郷土の先賢、村田清風の紙・ろう・米・塩の生産を奨励した「四白政策」にちなんだイベント「すこいぞ！清風翁『天保の改革』にチャレンジ」が行われました。

20人の児童は三隅青年団の指導のもと3グループに分かれ、「紙」では牛乳パックからはがきを作る「紙すき」を、「塩」では形作ったモールを核とした「結晶づくり」を、「ろう」ではカラーサンドや貝殻などで飾りつけた透明なキャンドル「ジェルキャンドルづくり」を順に体験しました。



▲紙すきに挑戦する児童



▲ろうを流し込む型に装飾を施す

# 住み慣れた地域で3年後も

ともに考えよう！3年後のわが故郷！

市が進めている地域包括ケアについて、地域の良さを感じながら3年後も住み慣れた地域で安心して暮らしていくための意見を交わす、長門市地域づくり学級「ともに考えよう！3年後のわが故郷！」が9月3日(木)、物産観光センターで開催され、長門市中央公民館の高齢者学級である「深川友愛学級」のメンバーや深川地区のサロンの世話人たち約50人が参加しました。

市保健師による深川地区の高齢者の現状と地域包括ケアに関する説明のあと、長門市医師会長で開業医の天野秀雄氏が、高齢期の健康管理や終末期医療などについて、時折ユーモアを交えながら講演しました。

講演終了後、グループごとに深川地区の良いところと課題について意見を出し合いました。参加者は自分の考えを付せん紙に書き込み、まとめ

た結果、良いところとして「サロンや老人会がある」「人が協力的」「災害が少ない」などの意見が出された一方、「公共交通機関が不便」「子どもとの交流が少ない」「空家や野生の猫の問題がある」などの課題も出されました。

最後に、長門市で行っている「ころばん体操」を全員で行い、会を終えました。



▲あらためて地域の良さと課題を見つめ直す